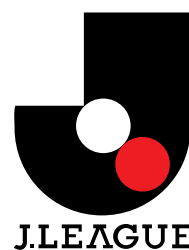


J.LEAGUE Official News Letter vol. 127 31 Jul. 2006

NEWS



編集・発行
社団法人日本プロサッカーリーグ
ホームページ <http://www.j-league.or.jp>

Amazing J.

スポーツで、もっと、幸せな国へ。Jリーグ百年構想



© J.LEAGUE PHOTOS

新チェアマンに 鬼武健二氏を選任

—— Jリーグ臨時理事会

Jリーグは7月20日、平成18年度第3回Jリーグ理事会および第30回通常総会、臨時理事会を開催し、臨時理事会で鈴木昌氏に代わり、Jリーグ専務理事の鬼武健二氏を3代目のチェアマンに選任した。

臨時理事会後の記者会見で鬼武新チェアマンは「リーグ、クラブ、選手が個性を生かすことで、より魅力あるJリーグをつくりたい」と所信表明を行った。

同時に、犬飼基昭前(株)三菱自動車フットボールクラブ代表取締役社長を専務理事に、佐々木一樹Jリーグ理事を常務理事に選任した。

鈴木前チェアマンは「クラブの社長経験者にチェアマンや専務理事を務めていただけるのは幸運なこと。熱意をもって理念を実現してほしい」と新体制に期待を寄せた。

J.League Official Sponsors

Calbee

Canon

SUNTORY

JOMO

NicoS

KONAMI

AIDEM

HEIWA

GE Money

Network Partner



League Cup Sponsor

ヤマザキナビスコ

Jリーグ百年構想
パートナー

朝日新聞

「個性が生きるJリーグを」

(社)日本プロサッカーリーグチェアマン 鬼武健二

この度、Jリーグ理事長(チェアマン)を拝命いたしました。

Jリーグ創設時は、「チェアマンとは椅子に座る人ですか」と聞かれる面白い話もありました。冗談半分ですが、仮にそうだとしても、少なくとも椅子に座りっぱなしは私の性には合いません。

初代チェアマンの川淵三郎さんは、百年構想の実現に向けて「走りながら考える」を実践し、Jリーグの基盤づくりと拡充に尽力されました。2代目鈴木昌さんは、Jクラブの経営安定化など、サッカー界を取り巻く環境改善に努力されました。3代目の私は、両氏が築いた礎の上に、クラブや選手の個性が生きるJリーグを発展させていきたいと思っています。

まずは、現在の日本サッカー界を取り巻く環境に鑑み、リーグ戦の充実、個性を伸ばす育成の確立、クラブや地域の特性を生かしたホームタウン活動の充実(地域密着)、日本サッカー協会(JFA)とJリーグの協調体制強化(車の両輪)に重点的に取り組んでいきたいと考えています。

先にドイツで行われたFIFAワールドカップでは、ひたむきで激しいプレーを積み重ねない限り、世界では戦えないことを知りました。優勝国イタリアのカテナチオ(かんぬき)と呼ばれる堅い守備の根底には、国内リーグでの厳しい戦いの経験、そして磨きぬかれた高い技術と個人戦術がベースとなっていることを見逃してはなりません。個性が生きるような厳しいJリーグを創り上げ、ひたむきで激しいプレーを積み重ねていくことで、AFCのチャンピオンズリーグ制覇、さらには世界を舞台に戦える力をつけられると思っています。そのためには、下部組織、指導者の充実も急務です。今でもアルゼンチン代表のテベスやメッシ、イタリア代表のカナバロのような世界トップレベルのプレーヤーになり得る原石は日本にいるはず。JFAとは、日本代表とJリーグの日程調整はもとより、ユース世代の育成においても、これまで以上に緊密な連携を構築していきたいと思っています。

また、Jクラブには、地域での認知度を上げ、地域の一員となる努力を継続しながら、今後はさらにクラブの個性、地域の特性を生かしたホームタウン活動を広げてほしいと期待しています。

個を生かし、伸ばし、たくましくするリーグをつくることで、魅力あるJリーグが実現し、Jリーグ百年構想の発展につながるものと確信しています。



鬼武 健二 (おにたけ けんじ)

プロフィール

1939年(昭和14年)9月19日生	
1958年 3月	広島大学付属高等学校 卒業
1958年 4月	早稲田大学政治経済学部 入学
1962年 3月	早稲田大学政治経済学部 卒業
1962年 4月	ヤンマーディーゼル(株) 入社
1978年 6月	// 東京支社 船用担当課長
1983年 6月	日豊ヤンマー(株) 代表取締役社長
1986年 6月	ヤンマーディーゼル(株) 船用事業部次長
1988年 6月	// マリンレジャー営業部長
1989年 3月	(株)ヤンマー・マリナックス 取締役社長 兼務
1992年 9月	ヤンマーディーゼル(株) サッカープロ化推進室長
1993年12月	大阪サッカークラブ(株) 代表取締役社長
1996年 6月	(社)日本プロサッカーリーグ 理事
2000年 2月	大阪サッカークラブ(株) 代表取締役会長
2004年 4月	大阪サッカークラブ(株) 代表取締役会長 退任
2004年 6月	(社)日本プロサッカーリーグ 専務理事
2006年 7月20日	(社)日本プロサッカーリーグ チェアマン就任

サッカー歴

1955年4月～58年3月	広島大学付属高等学校 サッカー部
1958年4月～62年3月	早稲田大学 ア式蹴球部
1958年	// 関東大学サッカーリーグ(1部) 優勝
	// 東西対抗大学サッカー選手権大会 優勝
1962年	// 関東大学サッカー選手権(1部) 優勝
1962年4月～67年5月	ヤンマーディーゼル(株) サッカー部
1967年2月～78年3月	ヤンマーディーゼル(株) サッカー部 監督
	// 日本サッカーリーグ(JSL) 優勝×3回
	// 天皇杯全日本サッカー選手権大会 優勝×3回
	// タイランド クイーンズカップ 優勝×1回



(上段左から) 池田 弘理事、武藤泰明理事、小竹伸幸理事、三屋裕子理事、傍士銃太理事、宮 裕監事
(下段左から) 松岡和良監事、三ツ谷洋子理事、海野一幸理事、佐々木一樹常務理事、鬼武健二チェアマン、犬飼基昭専務理事、椿原正浩理事、佐野 泉理事、真壁 潔理事

理事・監事選任

理事・監事	氏 名	年 齢	所 属
チェアマン	鬼武 健二※ (おにたけ けんじ)	66	(社)日本プロサッカーリーグ
専務理事	犬飼 基昭※ (いぬかい もとあき)	64	(株)三菱自動車フットボールクラブ 前代表取締役社長
常務理事	佐々木一樹※ (ささき かずき)	54	(社)日本プロサッカーリーグ
理 事	池田 弘 (いけだ ひろむ)	56	(株)アルビレックス新潟 代表取締役会長
理 事	海野 一幸 (うみの かずゆき)	60	(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ 代表取締役社長
理 事	久保 允彥 (くぼ まさたか)	56	(株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長
理 事	佐野 泉 (さの いずみ)	62	(株)ガンバ大阪 代表取締役社長
理 事	椿原 正浩 (つばはら まさひろ)	63	東京フットボールクラブ(株) 代表取締役社長
理 事	真壁 潔 (まかべ きよし)	44	(株)湘南ベルマーレ 代表取締役
理 事	小竹 伸幸 (こたけ のぶゆき)	47	(株)博報堂 法務室 室長
理 事	傍士 銃太※ (ほうじ せんた)	50	日本政策投資銀行 地域企画部審議役
理 事	三屋 裕子 (みつや ゆうこ)	47	(株)シャルレ 代表取締役社長
理 事	三ツ谷洋子 (みつや ようこ)	58	(株)スポーツ21エンタープライズ 代表取締役
理 事	武藤 泰明 (むとう やすあき)	51	早稲田大学スポーツ科学学術院 教授
理 事	未定		(財)日本サッカー協会 専務理事予定者※2
理 事	未定		(財)日本サッカー協会 技術委員長予定者※2
理 事	未定		(財)日本サッカー協会 審判委員長予定者※2
監 事	松岡 和良※ (まつおか かずよし)	59	(株)名古屋グランパスエイト 代表取締役専務
監 事	宮 裕 (みや ゆたか)	51	あずさ監査法人 代表社員公認会計士

※新任 ■上記理事・監事の任期は、(社)日本プロサッカーリーグ定款第17条に基づく〔役員の任期は、就任後第2年目の決算期に関する総会終結のときまでとし、再任を妨げない〕。

※2 ■2006年7月30日の、(財)日本サッカー協会の評議員会、理事会にて選任される予定。

2005年度 (平成17年度)の Jリーグ 収支決算

Jリーグの2005年度収支決算が、7月20日に開催した総会で承認された。

2005年度一般会計の当期収入合計は、商品化権料、映像二次使用料、入場料収入の増加を主因として、約117.2億円と予算比6.9億円の増収となった(公式試合安定開催基金関連取引を控除すると約5.1億円の増収)。当期支出合計は、約116.2億円で、予算比6.4億円の増加となったが、公式試合安定開催基金への積立金等を控除した実質ベースでは、予算比約1.2億円の減少であった。クラブへの配分金合計は、約69.6億円となった。

*公式試合安定開催基金：Jリーグ公式試合の運営に支障を来す事態を未然に防ぐため設立された基金

■ 2005年度(平成17年度)収支決算

(百万円)

		2005年度実績	2005年度予算	2004年度実績
収入の部	1.入会金・会費	1,040	960	980
	2.協賛金	4,005	3,995	4,281
	3.Jリーグ主管試合入場料	297	248	300
	4.放送権収入	4,905	4,903	4,978
	5.商品化権収入	668	500	682
	6.その他	803	419	568
	当期収入合計	11,718	*11,026	11,789
	前期繰越収支差額	316	57	54
	収入合計	12,034	11,083	11,843
支出の部	1.事業費			
	リーグ運営経費他	2,526	2,649	2,378
	クラブへの配分金	6,959	6,535	7,681
	2.管理費	1,601	1,675	1,424
	3.その他	538	124	44
	支出合計	11,624	*10,982	11,527
	当期収支差額	93	44	262
	次期繰越収支差額	410	101	316

*クラブへの配分金に含まれるものは以下のとおり：公式試合出場料、放送権料、商品化権料、賞金 * 四捨五入により一部合計が合わないところがあります(*)。 * 次期繰越収支差額の内、公益分2億8,600万円を公式試合安定開催基金に組み入れ予定

J-EASTが快勝！ MVPは攻守に活躍の中澤選手



2006JOMOオールスターサッカー



MVP賞の中澤佑二選手（横浜FM）

Jリーグの祭典「2006JOMOオールスターサッカー」が7月15日、茨城県立カシマサッカースタジアムに3万2975人の観衆を集めて開催され、J-EASTが4-1とJ-WESTに快勝した。J-EASTは前半を1-0とリード。後半も3点を連取し、J-WESTの反撃を1点に抑えた。東西対抗としての通算成績はJ-EASTの5勝1分6敗。MVP賞には、先制点を決めるなど攻守に活躍したJ-EASTのDF中澤佑二（横浜F・マリノス）が選ばれた。この4日後にはJリーグ ディビジョン1も本格的に再開し、再び国内のサッカーシーンにも活気が戻ってきた。



2006FIFAワールドカップ ドイツが終了し、世界の各国では国内シーンに活気が戻ってくる。日本の場合はもちろん、Jリーグだ。日本国内でプレーするスター選手が一堂に会する「2006JOMOオールスターサッカー」は、そのJリーグ ディビジョン1の本格的再開を告げるにふさわしいイベントだったといえるだろう。

J-EASTを勝利に導いたパウロ アウトウ

オリ監督（鹿島アントラーズ）は「この試合に関しては、勝者も敗者もないと思う。今日はサッカーが勝者だ。このような大会を開催できたことが大きな勝利」と自信に満ちた声で語った。一方、「この大会に参加できたことが幸せだ。結果は二の次。（選手たちが）楽しむこと、ファンを魅了することを心がけた。いいお祭りとなった」とは、J-WESTのシャムスカ監督（大分トリニータ）。



■2006JOMOオールスターサッカー出場選手

J-EAST

鹿島アントラーズ、浦和レッズ、大宮アルディージャ、ジェフユナイテッド千葉、FC東京、川崎フロンターレ、横浜 F・マリノス、ヴァンフォーレ甲府、アルビレックス新潟

監督 パウロ アウトウオリ 鹿島
コーチ 鈴木 淳 新潟

■サポーター投票選出選手

	選手名	所属	出場回数
GK	野澤洋輔	新潟	③
DF	内田篤人	鹿島	初
	中澤佑二	横浜FM	⑤
	坪井慶介	浦和	③
MF	小笠原満男★	鹿島	④
	阿部勇樹	千葉	④
	小野伸二	浦和	②
	鈴木慎吾	新潟	②
FW	柳沢 敦	鹿島	⑤
	巻誠一郎	千葉	②
	久保竜彦	横浜FM	③

■Jリーグ推薦選手

GK	土肥洋一	F東京	②
DF	茂庭照幸	F東京	初
MF	小林大悟	大宮	初
FW	我那覇和樹	川崎F	初
	バレー	甲府	初

J-WEST

清水エスパルス、ジュビロ磐田、名古屋グランパスエイト、京都パープルサンガ、ガンバ大阪、セレッソ大阪、サンフレッチェ広島、アビスパ福岡、大分トリニータ

監督 シャムスカ 大分
コーチ 長谷川健太 清水

■サポーター投票選出選手

	選手名	所属	出場回数
GK	川口能活	磐田	⑧
DF	宮本恒靖★	G大阪	⑧
	駒野友一	広島	②
	根本裕一	大分	③
MF	菊地直哉	磐田	初
	遠藤保仁	G大阪	②
	藤本淳吾	清水	初
	兵働昭弘	清水	初
FW	佐藤寿人	広島	②
	玉田圭司	名古屋	③
	中山雅史	磐田	⑦

■Jリーグ推薦選手

GK	西川周作	大分	②
DF	青山直晃	清水	初
MF	古橋達弥	C大阪	初
	中村北斗	福岡	初
FW	パウリーニョ	京都	初

★=キャプテン

両ブラジル人監督の言葉を待つまでもなく、このJOMOオールスターサッカーは例年、両チームが攻撃的で、見ていて楽しいサッカーを披露してくれる。サポーター投票などで選ばれた人気選手たちが、持てる力を思う存分に発揮し、ゴール前でのアクションも多い展開に、ファン・サポーターは時の経つのも忘れる。まさに国内サッカーの祭典といえるだろう。

もちろん、ピッチに立てば、選手たちには勝利への意欲が沸いてくる。「お祭りでも、負けると悔しい。去年は勝っているのに、今年も勝ちたかった」というJ-WESTのFW佐藤寿人（サンフレッチェ広島）の言葉が、それを証明している。

そのピッチ上の戦いは、立ち上がりから活発な攻め合いが展開された。J-EASTはMFの小笠原満男（鹿島）、小野伸二（浦和レッズ）を中心に試合をコントロール。J-WESTはFWパウリーニョ（京都パープルサンガ）が組み立て、チャンスメイク、シュート



に絡む積極性で得点を狙った。さらに、J-EASTのMF内田篤人(鹿島)、J-WESTのDF青山直晃(清水エスパルス)のような10代の若手も、物おじしないプレーでアピールした。

均衡が破れたのは28分、中澤が自ら倒されて得たFKを直接決めて、J-EASTにリードをもたらした。後半開始から間もなく、J-WESTがパウリーニョ、佐藤のシュートでおびやかした後、J-EASTは一気にその差を広げる。62分には、後半から出場のFW巻誠一郎(ジェフユナイテッド千葉)が、得意のヘディングで追加点。71分、81分には、やはり交代

出場のFWバレー(ヴァンフォーレ甲府)が連続得点し4点差。J-WESTも反撃したが、87分にMF古橋達弥(セレッソ大阪)が一矢を報いたにとどまった。

注目のMVP賞に輝いたのは中澤。DFとしては初の受賞となり、クリスタルトロフィー、賞金100万円、常陸牛1頭分が授与された。また、敢闘賞はパウリーニョ、最も印象的なプレーをみせた選手に贈られるMIP賞は巻が獲得した。



なお、来年のJOMOオールスターサッカーは、静岡スタジアム エコパで開催される予定だ。

2006 JOMO オールスターサッカー前夜祭



「Jリーグ サッカーパーク in KASHIMA」

2006 JOMO オールスターサッカー前日の7月14日には、鹿嶋市内のホテルで約300名の来場者を迎え前夜祭が開催された。鈴木昌Jリーグチェアマン(当時)を皮切りに、橋本昌茨城県知事、特別協賛社である株式会社ジャパンエナジーの松下功夫代表取締役社長らがあいさつ。内田俊郎鹿嶋市長の乾杯の音頭で始まった会には、出場する両チームの監督、選手らも参加。舞台上に勢ぞろいし、パウロ アウトウオリ、シャムスカの両監督、小笠原満男、宮本恒靖の両キャプテンがスピーチ。小笠原は「地元の鹿嶋での開催で、皆さんにも自分にも楽しめる1日にしたい」、宮本は「あすの試合はぜひ、勝利にこだわりたい」と試合への抱負を述べた。

試合当日には、県立カシマサッカースタジアムや周辺のト伝の郷運動公園多目的球技場で「Jリーグサッカーパーク in KASHIMA」が実施され、8,136人の来場者でにぎわった。参加者の注目が一段と高まったのは、ハッピーファミリーサッカーのゲストとして、中山雅史、宮本恒靖の両選手が登場した瞬間。3〜4人でチームを組んで行うミニゲームで、お母さんや子どもたちを相手に、本番さながらの思い切りのいいプレーを披露した。

このほか、地元の鹿島アントラーズのコーチによる「サッカークリニック」、「Mizuno 8 MAN SOCCER」(8人制サッカー)などが行われ、参加者は真剣なまなざしでボールを追っていた。スタジアム内では「ピッチでマッチ!」に参加の小学生たちが、歓声をあげていた。



©J.LEAGUE PHOTOS

J1

本格的に再開 夏場の連戦が課題

位は、やはりジェフユナイテッド千葉に2-1の逆転勝利を飾った昨季王者のG大阪。再開前は2位だった浦和レッズは、アルビレックス新潟に1-2と敗れ3位に後退。新潟が6位から4位に浮上し、終了直前の得点で横浜F・マリノスを1-0で振り切った清水エスパルスが5位に上がった。昇格チーム同士の戦いでは、ヴァンフォーレ甲府が京都パープルサンガを3-1で下した。

中断期間中には4チームで監督の交代があった。再開初戦で勝利をあげたのは、ベトロヴィッチ監督の率いるサンフレッチェ広島だけ。名古屋グランパスエイト戦を3-2で制した。オシム監督が日本代表監督に就任した千葉は、コーチだった息子のアマル・オシム氏が監督に昇格したが、前述のようにG大阪に敗れた。川勝良一監督のアビスパ福岡はFC東京と0-0で引き分け、アジウソン新監督の磐田は第11節の未消化試合でG大阪と2-2で引き分けた後、大宮アルディージャに1-2の黒星。

再開初戦で、久々にピッチに戻ってきた選手たちもいる。昨年10月の柏レイソル戦で右足首を骨折した浦和のFW田中達也は、約9



©J.LEAGUE PHOTOS

カ月ぶりの復帰。昨年9月の横浜FM戦で右ひざのじん帯を損傷したF東京のMF石川直宏も、10カ月ぶりに公式戦のピッチに立った。また、スペインのマジョルカに所属していたFW大久保嘉人が、古巣のセレッソ大阪に復帰した。約1年8カ月ぶりとなるホームの大阪長居スタジアムにおける大分トリニータ戦で、後半8分に交代出場。試合は0-2と敗れたが、彼がボールに絡むとサポーターの声援が高まった。こうしたアテネオリンピック世代に属する選手たちのプレーが、J1の戦いをさらに活性化することを期待したい。

J1はまだ前半戦。優勝チームを予想するには時期が早い。まずは8月12日の第17節から同30日の21節まで、19日間で5試合をこなす夏場の連戦が課題となりそう。この厳しい日程を乗り切り、各チームともその後の戦いに弾みをつけたいところだろう。

J2

長丁場の戦いは後半戦に突入 柏が首位キープ、得点ランクトップは鳥栖の新居

2006FIFAワールドカップドイツの開催期間中も、試合が行われていたJリーグディビジョン2(J2)。7月17日に第28節を終了し、現在は第3クール。長丁場の戦いは後半戦に突入したところだ。

この時点で首位に立っているのは、第2節以来、その座を維持している柏レイソル。第28節は調子を上げてきたヴィッセル神戸をホームに迎え、3-0と快勝した。2位の横浜FCとの差は勝点5。これが今季の26試合目だったが、昨季の同段階で首位だった京都パープルサンガ(現J1)は、2位のアビスパ福岡(現J1)に勝点16の差をつけていた。それを考えれば、今後の戦いはまだまだ予断を許さない。

昨季11位の横浜FCも、安定した戦いぶりで首位をうかがっている。25試合でわずか9失点。1993年に清水エスパルスがつくった731分間を上回る、770分間連続無失点とい



©J.LEAGUE PHOTOS

うJリーグ新記録も樹立している。

この横浜FCを勝点1差でぴったりとマークしているのはベガルタ仙台。こちらは通算44ゴールを記録し、J2最多得点の攻撃力となっている。FWボルジェス、MFのロベス、チアゴ・ネーヴィスのブラジル人トリオがその原動力だ。以下、神戸、東京ヴェルディ1969と続く。東京VはJ1の中断期間中に、川崎フロンターレからMFマルクスを獲得した。かつてアルビレックス新潟、川崎FをJ1昇格に導いた実績の持ち主を得て、1年でのJ1復帰へ向け加速したいところだ。

得点ランキングではサガン鳥栖の22歳のFW、新居辰基が14点をあげ、外国籍選手たちを抑えてトップに立っている。

2006 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 準決勝組み合わせ決定！

2006 Jリーグヤマザキナビスコカップは6月3日、4日に準々決勝第1戦、6月7日、8日に同第2戦が行われ、鹿島アントラーズ、ジェフユナイテッド千葉、横浜 F・マリノス、川崎フロンターレの準決勝進出が決まっている。

決勝トーナメントでは今年から「アウェイゴールルール」が採用されることになった。ホーム＆アウェイ方式で2試合の合計得点と同じ場合、アウェイでより多くの得点をあげた

チームが勝つ。欧州のUEFAチャンピオンズリーグなどで定着しているシステムだ。

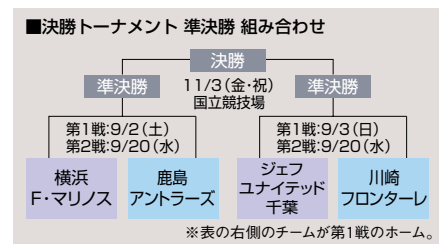
この方式の恩恵にさっそくあずかったのが、川崎Fだった。アウェイの第1戦、川崎Fは浦和レッズと激しい点の取り合いを演じ、3-4と惜敗した。しかし、ホームに戻っての第2戦では、浦和に一度は同点とされながらも、第1戦で浦和の全得点を記録したFWワシントンに厳しいマークで封じ、2-1の勝利。2試合合計スコアは5-5となったが、アウェイであげた得点は川崎Fが3で浦和が1ということから、川崎Fに軍配が上がった。一方、2003年のヤマザキナビスコカップ優勝チームである浦和は、5年連続の4強入りを逃した。

決勝トーナメントからは、AFCチャンピオンズリーグ参加のため予選リーグを免除されたガンバ大阪も登場した。第1戦は鹿島の



ホームに乗り込み、0-0の引き分け。しかし、第2戦のホームゲームは後半、アレックス ミネイロに2点を奪われて0-2の敗戦。ヤマザキナビスコカップ優勝3回を誇る鹿島は、3年ぶりの準決勝進出を果たした。

ヤマザキナビスコカップ連覇を目指す千葉は、2試合で8得点をあげる攻撃力で、セレッソ大阪に5-2、3-2の連勝と文句なしの4強入り。FWハースが5得点、MF山岸智が3得点の大活躍だった。5年ぶりのリーグカップ戦優勝を狙う横浜FMは、FW久保竜彦の2試合連続得点などでホームの第1戦を2-1、アウェイの第2戦を2-0と、ジュビロ磐田を下した。



Topics

2006年スポーツ振興活動 第2期申請分の支援を決定

Jリーグは、Jリーグ各クラブが実施するサッカー以外のスポーツ振興活動への支援に関し、2006年度第2期申請分（2006年5月15日締め切り）の、14クラブ29件への活動支援を決定した。これにより、2006年度のスポーツ振興活動支援は全49件となった。支援予算は、当初予算の3500万円から4100万円に増額することを決定した。

2006年度スポーツ振興活動支援 第2期承認一覧 (2006年7月20日現在)

No	クラブ名	行事名	対象種目	形式	参加対象者	開催期間	場所
1	仙台	ベガルタ仙台 ソフトテニス指導者教室	ソフトテニス	教室	宮城県中学・高校ソフトテニス指導者	2007年1月21日	仙台市内庭球場
2		ベガルタ仙台 バリアフリーサッカー教室	障害者サッカー (電動車椅子サッカー、視覚障害者サッカー、脳性まひサッカー、知的障害者サッカー)	教室	宮城県内の障害者	7月1、15、23日、8月5、6日、9月3日、10月15、21、29日、11月19日、12月3、10日	宮城県障害者総合体育センター体育館、宮城県立盲学校体育館、東北電力名取スポーツパーク、岩沼市多目的グラウンド、泉サッカー場、宮城県サッカー場
3		ベガルタ仙台 健康体操教室	健康体操	教室	宮城県内の高齢者とその家族	9月13日、10月25日、11月25日	石巻市内体育館、バルシティ仙台、東北工業大学
4		ベガルタ仙台 女子サッカー教室	女子サッカー	教室	女子中学生	7月31日	シェルコム仙台
5	山形	女子駅伝チーム	駅伝	チーム	監督1名、選手3名	通年	あかねヶ丘陸上競技場ほか
6	鹿島	第9回鹿島アントラーズ杯ミニバスケットボール大会	バスケットボール	大会	小学生	12月9、10日または12月16、17日	カシマスポーツセンターほか
7	水戸	水戸ホーリーホック バレーボール教室	バレーボール	教室	一般	4月～2007年3月	茨城県職業人材育成センター体育館
8	千葉	第7回夏休み親子スポーツ合宿 ゴルフ＆サッカーキャンプ	サッカー、キャンプ、ゴルフ	教室	親子	7月22、23日	イレブンオートキャンプパークほか
9		第32回家庭婦人バレーボール大会	バレーボール	大会	市原市在住の家庭婦人が編成されたチーム	11月18、19日	市原臨海体育館
10		サッカー&アメフトイベント	サッカー、アメフト	教室	子ども	8月22日	レナウンリジエントジャンクション内グラウンド
11		アルビレックス新潟 フープクリニック	バスケットボール	教室	小学生、中学生、高校生	6月18日～12月24日(予定)	新潟県内体育館
12	新潟	第3回アルビレックス杯争奪ゲートボール大会	ゲートボール	大会	自由	10月13日	新発田市中央公園芝生広場
13		アルビレックス新潟コンディショニングセミナー	スキー、スノーボード競技者	教室	小学生以上	7月～10月に5回	妙高ふれあいパークほか
14		*第1回アルビレックス新潟杯フロアカーリング大会 第10回しろね健康ウォークフェスティバル	フロアカーリング、ウォーキング	大会、教室	小学校4年生以下は保護者同伴	9月17日または18日	新潟市白根カルチャーセンター周辺
15		アルビレックス新潟サマーレーシングクリニック	スキー(アルペン競技)	教室	スキー競技者(小学生以上)	7月～9月まで3回を予定	長岡市営スキー場ほか
16	磐田	アルビレックス新潟ジュニアレーシングクリニック	スキー(アルペン競技)	教室	スキー競技者(小学生、中学生、高校生)	2007年1月～3月まで3回を予定	上中越各地域のスキー場
17		第9回ジュビロ磐田メモリアルマラソン	マラソン	大会	一般	11月13日	磐田スポーツ交流の里ゆめりあ
18		グランパスフラッグフットボール一日体験教室	フラッグフットボール	教室	小学3～6年生	7月22日	名古屋大学内人工芝サッカー場
19		紫雲杯バスケットボール 京都パープルサンガ学生同好会トーナメント	バスケットボール	大会	大学、大学のバスケットボールサークル、同好会	2007年3月初旬	京都府立体育館(予定)
20	京都	京都パープルサンガ GIRLSサッカーフェスティバル	女子サッカー	教室	小学生女子	7月30日、8月23日	東城陽人工芝グラウンド、西京極競技場
21		ENJOYレディースサッカースクール	女子サッカー	教室	小学生以上の女子	9月4日～11月27日、12月11日～2007年3月19日	京都府立体育館
22	C大阪	視覚障害者(ブラインドサッカー) 親善試合	障害者サッカー	大会	ブラインドサッカーチーム(4チーム)	8月12日	長居球技場
23	神戸	フェスピック神戸大会記念日本身体障害者サッカー親善大会	身体障害者サッカー	大会	身体障害者ほか	9月2、3日	神戸市しあわせの村
24		HYOGOノーマライゼーション陸上スポーツ大会in KOBE	障害者スポーツ	大会	日ごろ運動習慣のある健康な方	8月5日	神戸ユニバー記念競技場
25		ヴィッセル神戸ミリオンスマイル親子スポーツDay～バドミントンチャレンジ2006～	バドミントン、フリンゴ	教室	神戸市内の親子、神戸市内ママさんバドミントンチームに所属している親子、ヴィッセル神戸クラブスタッフ親子、ヴィッセルカレッジ生の親	7月17日	神戸学院大学体育館
26		第1回兵庫県女子ユース(U-15)サッカーリーグ戦	女子サッカー	大会	小学5年生～中学3年生の16名以上で構成されるチーム	7月22～31日	兵庫県内各グラウンド
27	広島	トップス広島 スポーツクラブ	バドミントン、サッカー、バレーボール、バスケットボール、テニス	教室	幼児～一般(競技によって制限あり)	通年	ひろぎんの森、大野石油店屋内体育館、広島広域公園陸上競技場ほか
28	福岡	アビスパ福岡視覚障害者サッカー支援活動	障害者サッカー	教室	視覚障害者	通年	福岡県立福岡高等盲学校
29	大分	大分トリニータ リトルシニアベースボール	野球	チーム	中学生	通年	大分スポーツ公園野球場

実行委員・参与選任

Jリーグは7月20日に開催した、理事会、臨時理事会で以下の実行委員・参与を選任した。

■実行委員

実行委員		
クラブ名	変更前	変更後
鹿島アントラーズ	牛島 洋	大東 和美(おおひかし かすみ)
	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー 前代表取締役社長	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長
浦和レッドダイヤモンズ	犬飼 基昭	藤口 光紀(ふじぐち みつのり)
	(株)三菱自動車フットボールクラブ 前代表取締役社長	(株)三菱自動車フットボールクラブ 代表取締役社長
モンテディオ山形	金森 義弘	海保 宣生(かいほ のぶお)
	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会 前理事長	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会 理事長

■参与

参与		
熊地 洋二	前社団法人日本プロサッカーリーグ 常務理事	2002年7月～2006年7月(在任期間4年)
牛島 洋	前社団法人日本プロサッカーリーグ 理事	理事:2002年6月～2004年7月(在任期間2年) 実行委員:2000年6月～2006年7月(在任期間6年)
松崎 孝紀	前社団法人日本プロサッカーリーグ 理事	理事:2004年7月～2006年7月(在任期間2年) 監事:2002年7月～2004年6月(在任期間2年) 実行委員:2001年6月～2005年1月(在任期間3年6カ月)
田村 景之	前社団法人日本プロサッカーリーグ 監事	2000年7月～2006年7月(在任期間6年)
金森 義弘	前モンテディオ山形 実行委員	理事長:2000年4月～2006年6月(在任期間6年2カ月) 実行委員:2006年1月～2006年6月(在任期間6カ月)

第3回JCYインター・シティー・カップ(U-15) in HIDA、 第2回西日本インターシティーカップサッカーフェスティバル(U-15)を後援

Jリーグは、昨年に引き続き日本クラブユースサッカー連盟が主催する第3回JCYインター・シティー・カップ(8月6～9日、岐阜県飛騨市)、および第2回西日本インターシティーカップサッカーフェスティバル(8月11～13日、長崎県佐世保市)を後援する。

同大会は、日本クラブユースサッカー選手権大会に出場できなかったチームがモチベーション高く参加できる競技会として位置付けられ、日本の将来を担うユース年代の少年たちのサッカー技術の向上、クラブチームの普及と発展を目的として開催される。それぞれ16チームが参加する。

Jリーグセミナー開催

Jリーグは、7月1日、2日、国立競技場およびJFAハウスにて、Jリーグセミナーを開催した。本セミナーは、日本サッカー協会とJリーグが3月から募集を開始した「Jリーグ準加盟クラブ」への申請を予定しているクラブ関係者を対象に、クラブ経営、ホームタウンのあり方、選手契約などの情報をJリーグから提供し、より良い準備をしていただくことを目的に開催したものの。29団体、58名が参加した。

Jクラブ個別経営情報を開示

Jリーグは、毎年9月に実施しているJリーグクラブの個別経営情報開示に関し、平成17年度分より、クラブ個別の確定決算数値を開示することを決定した。開示必須項目については全クラブ必須、また開示任意項目については各クラブ任意の開示となる。

〈開示対象データ〉

各Jクラブの平成17年度確定決算数値

■開示時期 平成18年9月

■開示必須項目 (経営成績): 営業収入、Jリーグ配分金、営業費用、営業利益、経常利益、当期純利益
(財政状態): 総資産、総負債、純資産

■開示任意項目 (経営成績): 広告料収入、入場料収入、その他営業収入、事業費、一般管理費、当期末処分利益、選手・チームスタッフ人件費
(財政状態): 資本金

■開示方法 「平成17年度Jクラブ情報開示資料」、「2007Jリーグマネジメントデータ」に掲載。

「かんきょうみらいカップ2006」事業を後援

Jリーグは、環境未来カップ実行委員会(札幌市、北海道サッカー協会、北海道新聞社)が主催する環境活動コンテスト「かんきょうみらいカップ2006」を後援する。同コンテストは、スポーツレクリエーションなどの活動を通じて子どもたちに環境の大切さを知ってもらい、環境に関する行動喚起を醸成することを目的とし、7月1日～11月11日の期間で行われる。

書籍紹介

『トップアスリートが教える 子どものための スポーツのすすめ』



5歳から12歳の子どものために、トップアスリートが遊びやいろいろなスポーツの持つ基本の動きを伝える。従来の指導者向けの児童スポーツ本ではなく、小学生および親や指導者が子どもの心身の発達をサポートすることを目的としている。

- タイトル 『トップアスリートが教える 子どものためのスポーツのすすめ』
- 編集 子どもスポーツ編集委員会
- 協力 日本サッカー協会、Jリーグ、Jリーグ・アカデミー、日本陸上競技連盟、日本バレーボール協会、日本テニス協会ほか
- 発行 講談社
- 定価 1,900円(税別)

代表強化の基盤はJリーグ Jでの1プレーを大事に

共同通信社 ◎ 村山 潤 (むらやま じゅん)

1カ月にわたり世界を熱狂させたサッカーのワールドカップ(W杯)ドイツ大会が閉幕した。ベルリンの五輪スタジアムを舞台にした7月9日の決勝はイタリアーフランス。欧州勢の組織的で堅固な守備が際立っていた今大会を象徴するような厳しいしのぎ合いの末、1ー1のまま延長戦に突入。今大会限りで現役を引退するフランスのMFジダンが、イタリアDFマテラッツィと口論の末に頭突きを食らわせて

退場となる衝撃的な事件にスタジアム全体が騒然とする中、イタリアがW杯史上2度目の決勝でのPK戦を制し、4度目の世界王者に輝いた。

3度目のW杯に臨んだ日本代表は1次リーグF組でオーストラリア、ブラジルに敗れ、クロアチアと引き分けの1分け2敗の勝ち点1で同組最下位。日本代表の苦い1次リーグ敗退から決勝までの約半月は、ドイツで世界最高峰の戦いを目の当たりにしながら、W杯での日本の戦いぶりや今後に思いをめぐらせ気が晴れなかった。正直、目の前のゲームを心の底から楽しめたかと問われれば、素直に肯定するのは難しい。

この4年間日本代表を率いたジーコ監督は退任に当たり、自身が解決できなかった点も率直に認めつつ、日本サッカー界に大まかに分け4つの提言を言い残していったように思う。

- 1、「精神面でのさらなるプロ意識の追求」
- 1、「体力、体格などフィジカル面の問題」
- 1、「状況に応じた選手の的確な判断」
- 1、「フィニッシュ(決定力)の問題」

この4項目はいずれも一朝一夕に改善されるものではない。問題解決の場は活動時間の限られる代表ではなく、日常のクラブでの練習や試合で、ということになる。ジーコ監督は1次リーグ最終戦のブラジル戦後、「クラブでの練習や試合ですべてを出し尽くすこと。やはりこれでメシを食っているんだ、やるからには常に上を目指していくんだという意識が重要」と、独特の言い回しで日本選手に足りなかったものを指摘した。

Jリーグ発足から14年目の日本サッカー界。ジーコ監督が言うレベルで、ふだんの練習からパス1本、シュート1本、ダッシュ1本を決めてやるがせにしない意識が、いまの選手にどれ



ほどあっただろうか。

日常のリーグ戦が代表強化の基盤であるという事実を、W杯の舞台はあらためて示した。欧州チャンピオンズリーグ(CL)の隆盛などによる欧州クラブの発言力、地位の向上で、W杯自体が日常的にクラブで一緒にプレーする選手が期間限定で各国別のユニホームに着替えて出場する大会、という性格が顕著になっている。まず日本代表、W杯ありき、の日本とは別に、

欧州を中心にW杯の方がリーグ戦に従属するという“逆転”は今後も強化されていくだろう。

今回のW杯出場32カ国の全登録選手(5月18日発表時点)がどこのリーグでプレーしているのかを集計すると、1位はイングランド104人、2位ドイツ74人、3位イタリア60人、4位フランス57人、5位スペイン51人と、欧州の主要リーグに人材が集中する構図が明確になる。世界各国から人材の流入するリーグを持つ国・地域のチームが、W杯で上位を占めるという結果は決して偶然ではない。

ちなみにJリーグはポルトガルと並ぶ19人、ちなみに韓国は16人、米国は15人だ。地理的文化的な条件もあり単純な比較はできないとはいえ、各国の登録枠23人を基準にするとJリーグは人材の「流出リーグ」。選手の意識向上を求めるならば、それにふさわしい環境や舞台づくりも必要だ。Jリーグ自体の魅力や価値を高める努力も欠かせない。

Jリーグ1部(J1)は7月19日、約2カ月間の中断を終えて再開した。W杯を戦った日本代表選手たちも所属クラブに戻り、再び日常の戦いが始まった。日本代表もオシム監督の就任で新体制が発足。代表選考も横一線からのスタートとなり、代表入りをアピールする選手の熱気で試合は清新な雰囲気満ちている。この雰囲気はここ数年なかったことだ。

ただし、監督が代わったからといってすべてが好転すると考えるのは楽観的に過ぎるだろう。ジーコ監督は「監督ができることは限られている。プレーをするのは選手」とも語った。W杯の苦い経験から代表選手たちが何を感じ、ジーコ監督が残した問い掛けをどう受け止めたか。再開したリーグ戦ではその答えを、選手たちの1プレー1プレーに探したいと思う。

PROFILE



1970年宮城県生まれ。93年東京学芸大卒業後、共同通信社入社。サッカーのほか、高校野球、相撲、五輪、アジア大会など国際総合大会を取材。福岡、大阪各支社、長野支局、ソウル支局を経て、2002年末から東京本社勤務。

さらに愛されるクラブづくりを

Jリーグ前チェアマン **鈴木 昌**



7月15日、カシマサッカースタジアムで開催された、JOMO オールスターサッカーでは、たくさんのサポーターから温かい声援と拍手を送っていただきました。これまで、ご支援いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

ワールドカップでは、日本代表は残念ながら十分な力を発揮することができませんでしたが、私は日本サッカーが発展していくために、大きな生きた教訓が得られた大会となったと感じております。世界との差、日本の実力を知り、これから何をすべきか、特に我々Jリーグはどうあるべきかを考え、実践する重要な転機となることを願っています。

4年前のチェアマン就任時、私は、長期の視点に立ったリーグ運営、事務局の磐石な体制づくりと優秀な人材の確保、メディアとの関係強化、そして、百年構想の充実という指針を掲げました。

さらに、これらの指針を元に、Vゴールの廃止、1シーズン制の導入、そしてクラブ数の増加という改革を実施しました。1シーズン制の導入については、チャンピオンシップの廃止という側面があり、当時協賛いただいていたサントリー(株)にはご迷惑をおかけしましたが、検討に検討を重ね、長期的なリーグの発展のために決定をいたしました。また、クラブ数の増加については、昨年発足した将来構想委員会で準加盟クラブの制度が設けられ、J2クラブの設立基準が示されるなど、段階的にクラブ数を増やしていく体制が徐々に整ってきたといえるでしょう。

技術的な側面では、選手、指導者、審判員の3者が揃ってレベルアップする必要性を感じてきました。審判員については、レスリー・モットラム氏がJFA 審判・チーフインストラクターとして長年にわたり大変大きな仕事をしてくださいました。サポ

ーターの存在を考えたとき、審判員のレベルアップは日本サッカー協会のみならず我々Jリーグも当事者として関わっていくべき事項であると認識してまいりました。私はモットラム氏の一番の理解者の一人であったと自負しておりますし、彼の功績による審判員の改革がJリーグの今後につながるものであることを強く願っています。

また、もっとも重視し、難しい仕事であったといえるのは、リーグのカレンダー作りです。この数年間における日本代表の試合日程とJリーグの日程調整は、すべてが望ましい状態におさまったとは言い切れません。海外リーグも同様の問題を抱えておりますが、最近の各国の状況を見ますと、商業主義に走りすぎの傾向も感じられます。選手の体力を十分に考慮しながら、今後も協会、リーグが連携して真剣に取り組んでほしいと思っています。

Jリーグの新チェアマンには鬼武健二氏が、また新専務として、浦和レッズの前代表取締役社長・犬飼基昭氏が選任されました。前述のとおり、Jリーグの長期の発展のためには、本部となるJリーグ事務局の磐石な体制が必須であると考えており、そのためには、当面Jリーグのチェアマンは、クラブの社長経験者が務めるのが望ましいと考えておりました。今回、セレッソ大阪を経験した鬼武氏、浦和レッズの犬飼氏という両氏の体制になったことは、大変幸運なことであり、今後のJリーグを託すにふさわしい新しいスタートを切れたものと嬉しく思っています。

Jリーグ百年構想は、その名のとおり、長期的な視野でJリーグの思いを実現していくものです。各クラブには、Jリーグ百年構想の実現と充実を目指して、一步一步、さらに地域に愛されるクラブづくりに励んでいただきたいと思います。



写真提供：© J.LEAGUE PHOTOS



「Jリーグニュース」は100%再生紙を使用しています。